

2021年3月期 財務概要

デジタルハリウッド大学

2021年3月期の収支状況

当年度の収入は1,563百万円となり、前年度に比べ89百万円の増となりました。前年度より引き続き入学者数の好調により在籍学生数増の結果学生等納付金98百万の増、海外提携大学への授業提供増による収入5百万の増、新型コロナウイルス感染症の影響で地域連携・撮影協力などの設備貸出収入が19百万の減、その他増減によるものです。

当年度の支出は1,413百万円となり、前年度に比べ84百万円の増となりました。新型コロナウイルス感染症の対策については、今般状況を本学の未来構想DHU2025*を実装する機会の一つと捉え、オンライン・リアルいずれでも遜色のない学習機会の提供が行えるよう注力しました。学習提供インフラの拡充や各種施策を行った結果、感染症対策などとあわせ設備運営関連費用52百万の増となりました。コロナ禍などで家計急変となった学生への経済的支援として大学独自の学費減免・奨学金を拡充し6百万の増となりました。その他、コロナ禍での移動減少により交通費は12百万の減、その他費用の見直しによる増減があります。新型コロナウイルス感染症に関連する費用以外では、引き続き国内外での大学広報の強化・募集を拡大し関連費用57百万の増、その他費用の増減があります。カリキュラム施策など学生の活性化については引き続き重点施策と位置づけ前年度と同様に費用を配分しております。

以上のように積極的に費用運用を行った結果、収支差額比率は前年度より0.3ポイント低下、収支差額は150百万円となりました。

*本学の未来構想 DHU2025 www.dhw.ac.jp/profile/vision (キーワード検索「DHU VISION」でもご覧いただけます)

過去5期間の推移 (単位:百万円)

項目	2017年3月期※	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
収入	1,296	1,351	1,412	1,474	1,563
支出	1,228	1,252	1,285	1,329	1,413
大学部門人件費	330	321	346	352	341
大学部門人件費以外	728	738	751	794	840
管理部門人件費(配賦)	75	74	42	68	64
管理部門人件費以外(配賦)	93	117	145	114	166
収支差額	67	99	128	145	150
収支差額比率	5.2%	7.4%	9.1%	9.9%	9.6%

本表における支出適用方法について

本学は2004年(平成16年)に構造改革特別区域法に基づく規制の特例措置として認定され、文部科学省の認可を受け設立した株式会社立大学です。設置会社のデジタルハリウッド株式会社では、監査法人による外部監査のもと年度決算を確定しております。また、事業部制により各事業部・グループごとの会計を行っております。本表では、文部科学省への設置計画履行状況報告の際に用いた支出配賦方法に基づいて算定と表記を行っております。

- ・設置会社の部門は、収益部門と管理部門に分けられます。大学は収益部門となります。
- ・管理部門の経費について、期間ごとに大学の収入(会社会計では売上高に分類)が設置会社全体の売上高に占める割合に基づき配賦率を定め、大学運営に必要な間接経費として期間ごとに配賦しております。

※注記：2017年3月期の記載について 本報告は、設置会社の監査後決算に基づいて作成しております。設置会社は2016年10月から2017年3月まで6か月間の決算を行い、決算を9月期から3月期に変更しました。以降との比較を行うため、2017年3月期の表記は2016年4月から2017年3月まで12か月間の損益計算書に基づき作成しております。

以上